第６講　教育史

1　古代～中世の教育

①奈良時代の教育

A　**大学**〔大学寮〕

上級官人(かんじん)の養成機関として**中央に設置**，**式部省が管轄(かんかつ)**。**貴族**や東西史部(ふひとべ)**の子弟**が入学し学生(がくしょう)となり，儒教中心の学業を終了して試験を通れば太政官に推薦される。

☆８～９世紀にかけ**明経道(みょうぎょうどう)**，**明法道(みょうぼうどう)**，**紀伝道(きでんどう)**〔文章道(もんじょうどう)〕，**算道**の四道が確立された。音道，書道を加え六道という。

☆教官の**明経博士(はかせ)**には清原氏・中原氏などが，**明法博士**には坂上氏・中原氏が，**文章博士**には菅原氏・大江氏・小野氏が，**算博士**は三善(みよし)氏・小槻(おづき)氏が就いた。

B　陰陽寮(おんみょう)

天文・暦・時報などを司(つかさど)る官司として中央に設置，中務省が管轄。

☆安倍氏や賀茂(かも)氏が教官として有名。

C　典薬寮(てんやく)

医薬を司る官司として中央に設置，宮内省が管轄。医学・薬学を教えた。

☆和気(わけ)氏や丹波(たんば)氏が教官として有名。

D　**国学**

下級官人の養成機関として**地方に設置**，**国司が管轄**。**郡司の子弟**らが入学。儒学・医学を教育し，修了者は上京して試験を通れば登用された。

E　図書館

石上宅嗣(いそのかみのやかつぐ)が邸宅を寺とし，**芸亭(うんてい)**という施設を置いて仏教以外の蔵書(ぞうしょ)も公開。**わが国初の私設図書館**。

②平安時代の教育

A　大学教育の発展

明経道(みょうぎょうどう)・明法道(みょうぼうどう)・紀伝道・算道の四道が確立。**漢詩文の隆盛に伴い紀伝道が中心教科となる。**

B　**大学別曹(だいがくべっそう)**

大学付属の寄宿舎(きしゅくしゃ)兼図書館。特定の一族専用で学費も支援された。

あ　**弘文院(こうぶんいん)(和気(わけ)氏)**

☆和気広世(ひろよ)(清麻呂の子)が設立。

い　**勧学院(かんがくいん)(藤原氏)**

☆**藤原冬嗣が設立**した最大の大学別曹。

う　**学館院(がくかんいん)(橘(たちばな)氏)**

☆嵯峨天皇の皇后橘嘉智子(かちこ)〔檀林(だんりん)皇后〕が設立。

え　**奨学院(しょうがくいん)**(**在原(ありわら)氏**など皇族出身氏族〔王(おう)氏〕)

☆在原行平(ゆきひら)(業平(なりひら)の兄)が設立。

C　**庶民教育**

綜芸種智院(しゅげいしゅちいん)(828年，**空海が設立**)

☆**京都**で儒教・仏教・道教を幅広く教えたが，**空海の死後廃絶した。**

③中世の教育

A　**金沢文庫(かねさわぶんこ)(北条〔金沢〕実時(さねとき))**⇒鎌倉時代

☆武蔵国称名寺(しょうみょうじ)境内にある，**初の武家による私設図書館**。

☆当時，唐代の『貞観政要(じょうがんせいよう)』などが帝王学の教科書として為政者に広く読まれた。

B　**足利学校(下野国(しもつけのくに))**⇒室町時代

関東管領上杉憲実(のりざね)が再興した漢学研究のための学校。戦国時代には全国から学生が集まり，宣教師フランシスコ=ザビエルにより「**坂東(ばんどう)の大学**」として西洋に紹介された。

☆初代庠主(しょうしゅ)(校長)は円覚寺の快元。

C　武家子弟・庶民の学問

いろは歌(うた)や『童子教』『実語教』，往来物の『**庭訓往来(ていきんおうらい)**』(玄恵(げんえ)の作か？)，『御成敗式目』などが教科書として使用された。

２　近世の教育

①イエズス会の教育施設（安土桃山時代）

A　**セミナリオ**

安土（近江国）にオルガンティーノらが設置した中級学校・**神学校**。のちヴァリニャーニにより有馬（ありま）（肥前国）に合併された。

B　**コレジオ**

府内（豊後国）にヴァリニャーニが設置した**大学**・宣教師養成学校。のち迫害（はくがい）のため天草（肥後国）・長崎（肥前国）へと移転。

☆ノビシャド〔修練院〕から入学する者もいた。

②江戸時代の儒学と教育

A　幕府の教育機関

1790年　寛政異学の禁で朱子学を正学とする。

1797年　聖堂学問所を官立化し，**昌平坂学問所（しょうへいざか）〔昌平黌（こう）〕**とする。

B　**藩校〔藩学〕**⇒全国に約250校

藩校は，初め朱子学を主とする儒学や武術を学ばせるものが多かったが，のちには国学や洋学も取り入れ，年齢や学力に応じた学級制もみられるようになった。

あ　**明倫館（めいりんかん）**　（**長州藩**，毛利吉元（よしもと））
い　養賢堂（ようけんどう）　（仙台藩，伊達吉村（よしむら））
う　明倫堂　（尾張藩，徳川氏）
え　**時習館（じしゅうかん）**　**（熊本藩・細川重賢（しげかた））**
お　**造士館（ぞうしかん）**　**（薩摩藩・島津重豪（しげひで））**
か　**興讓館（こうじょうかん）**　**（米沢藩・上杉治憲（はるのり）〔鷹山（ようざん）〕**が再興）
き　修猷館（しゅうゆうかん）　（福岡藩，黒田氏）
く　**明徳館（めいとくかん）**　**（秋田藩・佐竹義和（よしまさ））**
け　学習館　（紀伊藩，徳川氏）
こ　明倫堂　（加賀藩，前田氏）
さ　**日新館**　（**会津藩**，松平容頌（かたのぶ））⇒はじめ保科正之（ほしなまさゆき）の稽古堂（けいこどう）
し　致道館（ちどうかん）　（庄内（しょうない）藩，酒井氏）
す　**弘道館（こうどうかん）**　**（水戸藩・徳川斉昭（なりあき））**

C　**郷校〔郷学〕**

藩の援助を受け，藩士に限らず庶民の教育も担った。

☆教諭所なども含む。

あ　**閑谷学校（岡山藩・池田光政）**

い　有備館　（仙台藩）

う　含翠堂　（摂津国平野）

え　廉塾　　（福山藩）

☆儒学者菅茶山の私塾を郷学として認可。

D　**私塾**

あ　**弘文館（林羅山〔道春〕）**　⇒上野忍ヶ岡に設立された**朱子学塾**

☆のち湯島に移転，半官半民の**聖堂学問所**となる。

い　講習堂　（松永尺五）　⇒京都二条に設立された朱子学塾

う　**藤樹書院（中江藤樹）**　⇒近江国小川村に設立された陽明学塾

え　**花畠教場（熊沢蕃山〔了介〕）**⇒岡山藩に設立された陽明学塾

☆最古の私塾。

お　**古義堂　（伊藤仁斎）**　⇒**京都堀川**に設立された**古学塾**

か　**蘐園塾　（荻生徂徠）**　⇒**江戸**に設立された**古学塾**

き　**懐徳堂　（中井甃庵ら）**　⇒**大坂**に設立された**準官学の町人塾**

☆初代学主は三宅石庵，のち**中井甃庵**やその子**中井竹山**・履軒らが学主となる。

☆**『出定後語』**の**富永仲基**や**『夢の代』**の**山片蟠桃**など，異色の合理主義学者を輩出。

く　**芝蘭堂　（大槻玄沢）**　⇒**江戸**に設立された**蘭学塾**

☆**新元会〔おらんだ正月〕**を開催。

け　**咸宜園　（広瀬淡窓）**　⇒**豊後国日田**に設立された**全国最大規模の私塾**

こ　**洗心洞　（大塩平八郎）**　⇒**大坂**に設立された**陽明学塾**

さ　**適塾〔適々斎塾〕（緒方洪庵）**⇒**大坂**に設立された**医学・蘭学塾**

☆**福沢諭吉・橋本左内・大村益次郎**〔村田蔵六〕らが学ぶ。

し　**鳴滝塾　（シーボルト）**　⇒**長崎**に設立された**診療所併設の医学・蘭学塾**

☆**高野長英**・小関三英・伊東玄朴らが学ぶ。

す　**松下村塾**（しょうかそんじゅく）（玉木文之進（ぶんのしん））　⇒**長門国萩**（はぎ）に設立，甥（おい）の**吉田松陰**（しょういん）が教授。

☆**高杉晋作・久坂玄瑞**（くさかげんずい）**・伊藤博文・山県有朋**（やまがたありとも）・前原一誠（まえばらいっせい）・品川弥次郎らが学ぶ。

E　**庶民教育**

あ　**寺子屋**（てらこや）〔手習所（てならいじょ）〕

生産活動の向上と商業の発達を背景に，師匠が男女に**読み・書き・算盤**（そろばん）など日常生活に役立つことや，幕府・藩の法，道徳などを教える。富裕な町人・村役人・僧侶・神職・牢人などにより運営された。

☆『庭訓往来（ていきんおうらい）』『六諭衍義大意（りくゆえんぎたいい）』『女大学（おんなだいがく）』などを教科書として使用。

☆幕府の文書（もんじょ）支配主義の影響もあり，**当時の日本の初等教育は世界屈指**（くっし）**の水準を誇**（ほこ）**った。**

い　**心学講舎**（しんがく）

享保期，**京都**の町人**石田梅岩**（いしだばいがん）が，商人を中心とする庶民の生活倫理として**心学〔石門心学**（せきもん）**〕**を唱え，『**都鄙問答**（とひもんどう）』を著す。

☆儒教道徳に仏教，神道，道教の教えを加味。営利・商売の正当性と商人の存在意義を講話で説く。

☆弟子の**手島堵庵**（てしまとあん）**（京都）**やその弟子**中沢道二**（なかざわどうに）**（江戸）**が全国に広める。

３　近代の教育

①教育制度の整備

A　**文部省**の設置（**1871年**）

初代文部卿に**大木喬任**（肥前藩出身）が就任。

B　**学制**　（**1872年**，文部卿＝大木喬任）

同時に出された『**学事奨励に関する太政官布告**〔**被仰出書**〕』で理念を表明。

あ　**フランス流教育制度**を採用

い　**中央集権的な全国画一主義の学校体系を確立**

☆政府は，国民各自が身を立て智を開き産をつくるための学問，という功利主義的教育観を唱え，小学校教育に重点を置き**義務教育**の方針を発表。**国民皆学**を目指した。

☆全国を**８大学区**に分け，各**大学区**に大学校１と中学校32を設置。各**中学区**に小学校210を設置（＝**小学区**）。これは約600人に１小学校の割合で，とくに地方では当時の国民生活と現実的にかけ離れていた。

☆『小学読本』（文部省）や『世界国尽』（福沢諭吉）が教科書として使用され，**掛け図**を用いて授業が行われた。

う　強引で画一的な実施や**過大な経済負担**，教育内容の不満などもあり各地で**学制反対一揆**が発生

☆長野県松本市の**開智学校**など，和洋折衷式で擬洋風建築の小学校もあった。

C　**師範学校**・東京女学校（1872年），**女子師範学校**（1874年），**東京大学**（**1877年**）の開設。

☆東京大学は旧幕府の開成所・医学所を起源とする開成学校（のち大学南校⇒東京開成学校）・医学校（のち大学校⇒大学東高⇒東京医学校）など諸校が統合されたもの。のち帝国大学さらに東京帝国大学となった。

D　**教育令**（**1879年**，文部卿＝寺島宗則）

この年，元田永孚（熊本藩出身）が起草した『教学大旨』も出される。

あ　**アメリカ流教育制度**を採用

☆義務教育は16カ月とする。

い　**地方の実情に合わせ**小学校設立は町や村の自由裁量とする

う　小学校を閉鎖・廃止する町村が続出

☆強制から放任への急転換は大きな混乱を招き，**“自由教育令”**と各方面から非難される。

E　**改正教育令（1880年）**

あ　**再び中央集権的な教育制度を採用しドイツ流の国家主義的教育**を目指す

☆**義務教育**は３年のうち**16カ月**とする。

い　国家の基準を明示し教育統制を強化

☆修身（しゅうしん）を筆頭科目とする。

F　**私立学校**の設立

1868年	**慶應義塾**（けいおうぎじゅく）	**（福沢諭吉）**	のち**慶應義塾大学**
1870年	フェリス女学校		のちフェリス女学院
1875年	**同志社英学校**（どうししゃ）	**（新島襄）**（にいじまじょう）	のち**同志社大学**
1880年	専修学校		のち専修大学
	東京法学社		のち法政大学
1881年	明治法律学校	（岸本辰雄ら）	のち明治大学
1882年	**東京専門学校**	**（大隈重信）**	のち**早稲田大学**
1883年	東京英和学校		のち青山学院大学
1885年	英吉利（イギリス）法律学校		のち中央大学
1886年	関西法律学校		のち関西大学
1887年	哲学館	（井上円了（えんりょう））	のち東洋大学
1889年	日本法律学校	（山田顕義（あきよし））	のち日本大学
1900年	**女子英学塾**	**（津田梅子）**	のち**津田塾大学**
	東京女医学校	（吉岡弥生（やよい））	のち東京女子医科大学
1901年	日本女子大学校	（成瀬仁蔵（なるせじんぞう）ら）	のち日本女子大学

②国家主義教育の強化（学校教育制度の確立）

A　**学校令（1886年，文部大臣＝森有礼（ありのり））**

あ　**ドイツ流国家主義的教育制度**

い　**帝国大学令・中学校令・小学校令**（1890年に改正）・**師範学校令**の総称

う　**義務教育**期間を尋常（じんじょう）小学校やそれに準じる簡易科の**３～４年間**とする

え　教科書は**検定制**とする。

B　**教育勅語（ちょくご）〔教育に関する勅語〕（1890年，元田永孚（もとだながざね）・井上毅（こわし）が原案起草（きそう））**

「**忠君（ちゅうくん）愛国**」を強調した国家主義的教育理念，儒教的道徳思想。

☆翌1891年，第一高等中学校で**内村鑑三不敬（ふけい）事件**が起こる。

C　**高等学校令**（1894年），実業学校令・**高等女学校令**・私立学校令（1899年）

軍部には陸軍士官学校と海軍兵学校が設置された。

D　**小学校令再改正　（1900年）**

市町村に小学校設置義務を課し，４年間の**義務教育を無償化**。

☆1892年の就学率は男子70％，女子36％だったが，無償化により女子が大きく伸び，1902年に男女合わせての就学率は90％を超えた。

E　教科書疑獄（ぎごく）事件　（1902～03年）

小学校教科書の採用をめぐる贈収賄（ぞうしゅうわい）事件。

F　**国定教科書　（1903年）**

小学校の教科書が，自由採択制⇒開申（かいしん）制⇒認可制⇒検定制を経て，**国定制**となる。

G　専門学校令　（1903年）

中学校・高等女学校卒業を入学資格とする修業年限３年以上の高等教育機関。

H　**小学校令再々改正（1907年）**

義務教育期間を６年に延長，就学率は1911年に98％を超えた。

I　**戊申（ぼしん）詔書　（1908年）**

教育を通じた国民道徳の強化をはかる。

J　**南北朝正閏（せいじゅん）問題**　（1911年）

“南北朝”を並立と記述した，文部省の官僚**喜田貞吉（きたさだきち）**が免官となる。

☆以後“南北朝”は“吉野朝”と記述され，北朝の天皇は削除された。

③大学令(1918年，原敬内閣)

総合大学である**九帝国大学**(東京・京都・東北・九州・北海道・大阪・名古屋・京城・台北)以外にも，**単科大学**や公立・私立大学の設置が認められた。

☆同年の**新高等学校令**により，全寮制と外国語重視を特色とする高等学校(３年制)の増設が進められた。また，1920年代には中学校･高等女学校(それぞれ４年制)の生徒数も急増した。

④自由教育運動の展開(大正期～)

子供の持つ可能性･自発性の伸長をはかる，児童中心主義を掲げた新教育運動。フランス・アメリカに発生し日本に伝わる。

☆沢柳政太郎の成城小学校，羽仁もと子の自由学園，西村伊作の文化学院など。

⑤綴方教育運動の展開(昭和初期～)

型にはまった作文教育を改め，日常生活重視の立場からありのままを作文させる教育が実施された。

☆鈴木三重吉の雑誌『赤い鳥』などが影響を与える。

⑥戦時下の教育

1937年　**文部省『国体の本義』**を発行

☆戦時下の国民教化の根本テキストとして普及。

1941年　**国民学校令(近衛文麿②内閣)**

☆**“皇国民の錬成”**を目指し，６年の尋常小学校と2年の高等小学校を８年の**国民学校**(尋常科・高等科)と改称。教科書『臣民の道』などを使用，皇国史観に基づく歴史教育が実施された。

☆成人と同様に「**八紘一宇**」の精神を教え，軍国少年・少女を育成した。

1943年　**学徒動員〔勤労動員〕**開始(６月)

☆中等学校以上の男子学生が対象。**女子挺身隊**もあった。

学徒出陣　(12月)

☆大学・高等学校・専門学校に在学中の文科系学生の徴兵猶予を停止。軍隊に動員された男性は400～500万人に達したので，国内労働力が絶対的に不足した。

1944年　大都市の**学童疎開**開始

４　戦後の教育

①教育改革指令（1945年～）

A　軍国主義・超国家主義的教育の禁止

B　**教職追放**

1946～47年に出された“ポツダム政令”で，職業軍人・軍国主義者・超国家主義者約11万人が追放される。

C　**修身・日本歴史・地理の授業一時停止**

のち1947年からの新学制により，**道徳・社会科**として再出発。最後の小学校用国定歴史教科書は『くにのあゆみ』。

☆日本国憲法普及のため，中学１年生用の準教科書『**あたらしい憲法のはなし**』も登場。

D　その他

墨塗(すみぬ)り教科書・青空教室など。

②アメリカ教育使節団の来日（1946年，幣原喜重郎）

GHQの要請でニューヨーク州の教育長官らが来日，教育の民主化を勧告。

☆日本側は教育家委員会のち教育刷新(さっしん)委員会を組織して協力。

③教育基本法　　（1947年，第一次吉田茂内閣）

教育の機会均等，**男女共学**の原則，**義務教育９年制**など。

☆のち2006年に改正（第一次安倍晋三内閣）。

④学校教育法　　（1947年，第一次吉田茂内閣）

六・三・三・四制の新学制が発足。

☆大学も大幅な増設により大衆化（＝新制大学）し，女子大学生も増加した。

⑤教育委員会法　（1948年，芦田均内閣）

1948年，教育勅語失効後に教育行政の地方分権化をはかり制定。教育委員は**公選制**。

☆都道府県・市町村ごとの教育委員会発足(ほっそく)は同年の第二次吉田茂内閣。

⑥その後の教育

1952年　**中央教育審議会**の設置

☆教育刷新委員会を改組。

1954年　**教育二法**の制定

☆公立学校教員の政治活動・政治教育を禁止，愛国心教育の必要が強調される。日本教職員組合〔日教組（にっきょうそ）〕はこれに反対。

1956年　教育委員会法の改正〔新教育委員会法〕

☆教育委員の選出が，住民による公選制から地方自治体首長による**任命制**となる。

1958年　文部省が「**道徳**」の実施要項を通達

☆週１回「道徳の時間」がスタート。

1969年　東大安田講堂事件

☆前年から続く**大学紛争**の影響で，この年の東大入試は実施されず。

1979年　国公立大学の共通一次試験開始

1984年　臨時教育審議会設置法

☆「教育の自由化」が討議され，個性重視路線に。

1990年　大学入試センター試験開始

1991年　全日本教職員組合設立

☆日本教職員組合〔日教組〕から左派が分裂。

1992年　小学校１・２年生で新教科「生活」開始

2001年　文部省を**文部科学省**に改組

2002年　完全週５日制を導入

「総合的な学習の時間」開始

義務教育で絶対評価を導入し「ゆとり教育」を本格実施

2004年　文科省が「脱ゆとり教育」を明示

2006年　教育基本法改正

2007年　学校教育法改正

2013年　いじめ防止対策推進法施行

2018年～道徳の教科化

2021年～大学入試改革（予定）